

【第18回 カーブス フードドライブ実施報告】

全国約13万8千人から寄せられた 食品約168トン

を774の福祉施設・団体へ ～地域に根差した店舗運営を活かし、「地域密着の健康インフラ」としての社会貢献活動～

「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」を運営する株式会社カーブスジャパン（本社所在地：東京都港区／代表：増本 岳）は、ご家庭にある食品を募り、最寄りの福祉施設・団体へお届けする活動「フードドライブ」において、約168トンの食品を774の福祉施設・団体にお届けしました。

2025年1月15日から1か月間の募集期間に、全国1,984店舗^{*1}でカーブス会員や地域の方、約13万8千名から食品が寄せられ、3月中旬までに各店舗が、それぞれ最寄りの食品を必要とする施設にお届けしました。約86万人（2024年11月末日現在）の会員を有するカーブスは、「地域密着の健康インフラ」を目指し、ビジネスを通じた地域社会への貢献のみならず、地域の健康課題を解決するための様々な支援活動を行っております。また、出店地域の女性コミュニティの力を活かし、地域の人と人とのつながりや支えあいなどの社会資本（ソーシャルキャピタル）充実への貢献も図っております。

カーブスの「フードドライブ」は、こうした考えに基づく、地域に根差した店舗運営を活かした取組みのひとつです。日本ではまだ「フードドライブ」の活動が盛んでなかった2007年に全国組織で初めて実施しました。今年で18回目の開催となります。この活動を通して食品を必要としながら確保ができない家庭や子ども、高齢者の方々のための施設に寄付し、地域社会への貢献活動に尽力しています。また本来食べられるのに廃棄される食品ロスの削減の一助となるべく活動しています。

食品を寄付した施設からは、昨今の物価高騰で食費の負担が増すなか、支援への感謝の声が寄せられています。「食費の負担が軽減されて助かる」「継続的な支援に感謝している」「地域の皆さまに支えられていることが励みになっている」といったお声を頂戴しました。

今後も地域に根差したコミュニティを持つカーブスだからこそできる、「いま、私たちにできること」を、地域の皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。

【第18回 カーブス フードドライブ 活動実績】

- 活動時期 : <2025/1/15～2/15> 食品受付 <同2/15～3月中旬> 各店から最寄り施設へ食品進呈
- 実施店舗 : 全国のカーブス店舗1,984店舗^{*1}（2024年11月末日現在） ^{*1}一部店舗ではお預かりのみ
- 参加者 : 全国約13万8千人
- 進呈数 : 全国774の福祉施設・団体（児童養護施設、母子生活支援施設、社会福祉協議会など）
- 集まった食品の量 : 約168トン（賞味期限が2025年5月1日以降の常温で保存できる未開封の食品
例：缶詰やレトルト食品、お米、乾麺、調味料など）
- 詳細 URL : <https://www.curves.co.jp/convey/food/>

活動の流れ



①各店で食品募集



②仕分け・梱包、運搬



③最寄り施設へお届け

■ 食品をお届けした福祉施設・団体からのお礼状（一部を抜粋してご紹介）

今年も子どもたちへたくさん食品を届けていただき、ありがとうございました。普段食べ慣れたものから、初めて見る食材や調味料、まだ味わったことのないレトルト食品まで、箱を開けるたびに「どんな献立にしたら子どもたちが喜ぶだろう？」とワクワクしています。

多くの皆さんが学園の子どもたちを応援し、見守ってくださっていることを伝えながら、思いやりのある子どもに育てていきたいと思ひます。いただいた食品を大切に活用し、子どもたちが心も体も大きく成長できるよう、これからもサポートしていきます。毎年、温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

児童養護施設

「ありがとうございました」。この言葉だけで、私達の感謝の気持ちがどこまで伝わるのかと考えることがあります。それでも、ほかにふさわしい言葉が見つからず、この言葉に思いを込めています。

ひとり親家庭にとって、物価高、特にお米の価格上昇は大きな負担です。そんな中、いただく食品の中には毎回必ずお米が含まれており、毎回とても喜ばれています。保護者の方からは「夏休み・冬休みは給食が無いので助かります」という声も寄せられています。

支援を受けることで、母親たちは食卓を囲む時間に少しゆとりを持てたり、日々の負担が和らいだりしているように感じます。こうした支援が、確かに暮らしの一部となり、多くの方の支えになっています。本当にありがとうございます。

母子生活支援施設

今年度も、カーブスの「フードドライブ」を活用させていただきありがとうございます。カーブス会員の皆様から寄せられた温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

食品を受け取った方々は、大変喜んでおり、皆様の想いをしっかりと届けることができました。今後も、子育て世帯や生活にお困りの方々への支援として、カーブスの「フードドライブ」を活用させていただきたいと思ひます。引き続き、皆様の温かいご支援をよろしくお願ひいたします。

社会福祉協議会

物価高騰の影響もあり、今年度は食品全般の寄付量が減少しました。一方で、食糧支援の要請件数は変わらず、特に近年はひとり親世帯や低年金生活世帯に加え、働き盛りの核家族世帯からの要請が増えています。世帯収入が上らない中での物価高騰や職場の経営不振による突然の解雇、再就職の困難など、さまざまな要因が影響し、共働き世帯でも片方が職を失うと生活が成り立たなくなるケースが見受けられます。その結果、精神的に追い詰められる状況に陥る方もおり、多機関と連携しながら支援を続けています。

皆様からいただいた食品は、必要としている方々へ確実にお届けし、生活の支えとなるよう活用させていただきます。一つ一つの食品が、困難に直面する方々の笑顔につながるよう、大切に配分してまいります。物価高騰が続く中、多くの食品をご寄付いただき、本当にありがとうございました。

フードバンク

18年前に申し込みをして、毎年カーブス様よりお話を頂いております。年を追うごとに、食料品の内容や量も充実し、改めて感謝申し上げます。

利用者の方々からも『カーブスさん、いつ来るの?』と楽しみに待つ声が聞かれています。昨今の物価高騰により、食費の負担が大きくなっていますが、カーブスから食品支援により、その負担を少しでも軽減できることをありがたく思っています。継続的なご支援に心より感謝申し上げます。

障害者支援施設

ご参考

■ カーブスについて (<https://www.curves.co.jp/>)

「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」では、「病気と介護の不安と孤独のない生きるエネルギーがあふれる社会」の実現を目標に、全国に1,984店舗を展開し、40歳代～70歳代を中心に86万人（2024年11月末日現在）の会員をサポートしています。また、地域からの要望に応じて男性専用スポーツジム「メンズ・カーブス」の展開も進めており、全国20店舗（2024年11月末日現在）を運営しています。

カーブスの運動は、健康づくりに必要な3つの運動「筋力トレーニング」「有酸素運動」「ストレッチ」を組み合わせ、1回30分間で全身を鍛えられるサーキットトレーニングです。独自に開発した油圧式マシンを使用し、ひとりひとりの体力や筋力に合わせて簡単に強度を調節できるため、安全かつ効果的に運動することができます。また、手軽に運動を続け、無理なく成果を出せるよう、インストラクターが、ひとりひとりに合わせた運動指導とサポートを行っています。

厚生労働省が2024年1月に発表した「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」では、成人および高齢者向けに、筋力トレーニングの実施が初めて推奨され、高齢者向けには多要素な運動（例：サーキットトレーニング）も新たに推奨されました。今回の新ガイドラインは、カーブスが長年実践してきたサーキットトレーニングの重要性を、改めて示すものとなりました。

カーブスは、大学・専門研究機関との共同研究により様々なエビデンスを保有し、下記のような運動効果が実証されています。

- ・筋肉量を維持しながらの健康的なダイエット、メタボリックシンドローム対策に有効 ※1
- ・転倒リスクが減り、介護予防に効果的 ※1 ※2 ※3
- ・高齢者の広範な認知機能を改善（認知症予防や認知機能リハビリへの応用が期待） ※4

※1 国立健康・栄養研究所 ※2 筑波大学大学院 久野研究室 ※3 東京都健康長寿医療センター研究所

※4 東北大学加齢医学研究所 川島隆太研究室



【株式会社カーブスジャパン 会社概要】

設立：2005年2月28日

代表者：増本 岳

資本金：1億円

事業概要：「女性だけの30分健康フィットネス カーブス」など運動施設の運営

所在地：東京都港区芝浦3-9-1 芝浦ルネサイトタワー 11階